

北海道医療計画 南檜山地域推進方針 新旧対照表

| 令和3年度 中間見直し（案） | 現行推進方針（平成30年度～令和5年度） | 見直しの考え方 |
|---|---|---------|
| <p>10 小児医療体制（小児救急医療を含む）</p> <p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 南檜山では、小児科を標ぼうする医療機関は、病院3か所、診療所3か所（町の保健センター除く）の6か所ありますが、そのうち診療所の1か所については週に数日の診療しか行っていない状況です。 なお、小児科を標ぼうしていなくても、来院する小児の診察を行っている病院や診療所もあります。 ○ 南檜山には、小児科を専門とする常勤医師については、道立江差病院に1名のみであり、入院・外来診療、救急及び町の乳幼児健診にも対応しており、負担が大きい状況です。 ○ 道の調査によると、小児救急患者の時間外受診の状況について、比較的軽症の患者が多い傾向にあり、厚生労働省の調査においても、小児救急患者はいわゆる時間外受診が多いことが指摘されています。 ○ 南檜山においては、「北海道小児地域支援センター」が未整備ですが、道立江差病院が「北海道小児地域支援病院」*1に選定されています。また、道立江差病院は小児救急医療支援事業参加病院*2として役割を担っています。 *1 小児医療の中核的な医療機関若しくは一般的な入院医療や小児の二次救急医療を担う医療機関として北海道知事が認定した医療機関 *2 休日・夜間に入院を要する小児の重症救急患者に対応する救急医療機関として小児救急医療支援事業（病院群輪番制）に参加する病院 <p>【課題】</p> <p>（1）小児医療提供体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小児科専門医の負担軽減 二次医療機関における小児救急患者に占める軽症者の割合が高いことが以前から指摘されている中、小児科専門医の常勤医師が圏域内には道立江差病院の1名しかおらず、非常勤の小児科専門医師の応援を受けてはいるものの、勤務状態の改善が求められており、不急かつ軽症の患者による休日夜間の受診に伴う負担を軽減する必要があります。 ○ 小児科の専門医の確保充実 南檜山に勤務する小児科専門医の勤務状況の改善及び小児医療の充実を図るため複数体制にすることが望まれます。 <p>（2）小児救急医療体制の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 南檜山の小児救急については、通常の救急医療体制の中で確保されていますが、保護者等による専門医志向や病院志向が大きく影響して、軽症患者であっても直接小児科専門医のいる道立江差病院を受診する傾向があるため、その負担軽減を図る必要があります。 | <p>10 小児医療体制（小児救急医療を含む）</p> <p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 南檜山では、小児科を標ぼうする医療機関は、病院3か所、診療所3か所（町の保健センター除く）の6か所ありますが、そのうち診療所の1か所については週に数日の診療しか行っていない状況です。 なお、小児科を標ぼうしていなくても、来院する小児の診察を行っている病院や診療所もあります。 ○ 南檜山には、小児科を専門とする常勤医師については、道立江差病院に1名のみであり、入院・外来診療、救急及び町の乳幼児健診にも対応しており、負担が大きい状況です。 ○ 道の調査によると、小児救急患者の時間外受診の状況について、比較的軽症の患者が多い傾向にあり、厚生労働省の調査においても、小児救急患者はいわゆる時間外受診が多いことが指摘されています。 ○ 南檜山においては、「北海道小児地域支援センター」が未整備ですが、道立江差病院が「北海道小児地域支援病院」*1に選定されています。また、道立江差病院は小児救急医療支援事業参加病院*2として役割を担っています。 *1 小児医療の中核的な医療機関若しくは一般的な入院医療や小児の二次救急医療を担う医療機関として北海道知事が認定した医療機関 *2 休日・夜間に入院を要する小児の重症救急患者に対応する救急医療機関として小児救急医療支援事業（病院群輪番制）に参加する病院 <p>【課題】</p> <p>（1）小児医療提供体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小児科専門医の負担軽減 二次医療機関における小児救急患者に占める軽症者の割合が高いことが以前から指摘されている中、小児科専門医の常勤医師が圏域内には道立江差病院の1名しかおらず、非常勤の小児科専門医師の応援を受けてはいるものの、勤務状態の改善が求められており、不急かつ軽症の患者による休日夜間の受診に伴う負担を軽減する必要があります。 ○ 小児科の専門医の確保充実 南檜山に勤務する小児科専門医の勤務状況の改善及び小児医療の充実を図るため複数体制にすることが望まれます。 <p>（2）小児救急医療体制の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 南檜山の小児救急については、通常の救急医療体制の中で確保されていますが、保護者等による専門医志向や病院志向が大きく影響して、軽症患者であっても直接小児科専門医のいる道立江差病院を受診する傾向があるため、その負担軽減を図る必要があります。 | |

北海道医療計画 南檜山地域推進方針 新旧対照表

| 令和3年度 中間見直し（案） | 現行推進方針（平成30年度～令和5年度） | 見直しの考え方 | | | | | | | | | | | | |
|--|---|---|--------|--|--------------|---|--|------|---|--------|---|--------------|--|---|
| <p>(1) 小児救急体制の確保 ○ 道立江差病院は、小児科専門医の勤務状況の改善及び南檜山の小児科専門医の複数体制確保に努めます。 ○ 各町国民健康保険病院の小児診療体制を維持し、専門医療については道立江差病院と連携して取り組みます。</p> <p>(2) 小児科医師の負担軽減 不急かつ軽症の患者による休日・夜間の小児科専門医への受診について、</p> <p>① 檜山医師会、各町及び関係機関と連携し、道内の内科医等を対象とした小児救急に関する研修を周知し、南檜山圏域の小児救急医療に係る連携を強化します。</p> <div data-bbox="142 772 1038 972" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><北海道小児救急医療地域研修事業> ・実施機関：北海道医師会へ事業委託 ・実施地区：第三次医療圏を基本に、全道8地区に区分し開催 ・対象者：在宅当番医制に参加する医師等</p> </div> <p>② 保護者の子育て不安の解消に資する観点から、「小児救急電話相談事業」について、より一層住民に対し周知啓発を実施するとともに、救急医療情報を道民、医療機関、消防機関に提供する「北海道救急医療情報・広域災害情報システム」ほか、救急法等講習会の実施など、救急医療についてより一層住民に対し周知啓発を行います。</p> <div data-bbox="127 1182 1291 1801" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><子ども医療電話相談事業>（平成16年度～）</p> <p>夜間における子どもの急な病気やけがなどの際に、専任の看護師や医師が保護者等からの相談に対し、電話により助言を行っています。</p> <table border="1" data-bbox="142 1350 1276 1738"> <tr> <td>電話番号</td> <td>011-232-1599（いーこきゅうきゅう） * プッシュ回線の固定電話及び携帯電話からは短縮ダイヤル「#8000番」も利用できます。</td> </tr> <tr> <td>相談実施日時</td> <td>毎日午後7時から翌朝8時まで 看護師1名（センター対応）、医師1名（自宅待機）</td> </tr> <tr> <td>利用に当たっての注意事項</td> <td>医師が直接診察して治療を行うものではなく、あくまでも電話による家庭での注意事項の一般的な対処などに関する助言アドバイスを行うものです。</td> </tr> </table> </div> | 電話番号 | 011-232-1599（いーこきゅうきゅう） * プッシュ回線の固定電話及び携帯電話からは短縮ダイヤル「#8000番」も利用できます。 | 相談実施日時 | 毎日午後7時から翌朝8時まで 看護師1名（センター対応）、医師1名（自宅待機） | 利用に当たっての注意事項 | 医師が直接診察して治療を行うものではなく、あくまでも電話による家庭での注意事項の一般的な対処などに関する助言アドバイスを行うものです。 | <p>(1) 小児救急体制の確保 ○ 道立江差病院は、小児科専門医の勤務状況の改善及び南檜山の小児科専門医の複数体制確保に努めます。 ○ 各町国民健康保険病院の小児診療体制を維持し、専門医療については道立江差病院と連携して取り組みます。</p> <p>(2) 小児科医師の負担軽減 不急かつ軽症の患者による休日・夜間の小児科専門医への受診について、</p> <p>① 檜山医師会、各町及び関係機関と連携し、道内の内科医等を対象とした小児救急に関する研修を周知し、南檜山圏域の小児救急医療に係る連携を強化します。</p> <div data-bbox="1365 772 2261 972" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><北海道小児救急医療地域研修事業> ・実施機関：北海道医師会へ事業委託 ・実施地区：第三次医療圏を基本に、全道8地区に区分し開催 ・対象者：在宅当番医制に参加する医師等</p> </div> <p>② 保護者の子育て不安の解消に資する観点から、「小児救急電話相談事業」についてより一層住民に対し周知啓発を実施するとともに、救急医療情報を道民、医療機関、消防機関に提供する「北海道救急医療情報・広域災害情報システム」ほか、救急法等講習会の実施など、救急医療についてより一層住民に対し周知啓発を行います。</p> <div data-bbox="1365 1182 2516 1801" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><小児救急電話相談事業>（平成16年度～）</p> <p>夜間における子どもの急な病気やけがなどの際に、専任の看護師や医師が保護者からの相談に対し、電話により助言を行っています。</p> <table border="1" data-bbox="1380 1350 2502 1738"> <tr> <td>電話番号</td> <td>011-232-1599（いーこきゅうきゅう） * プッシュ回線の固定電話及び携帯電話からは短縮ダイヤル「#8000番」も利用できます。</td> </tr> <tr> <td>相談実施日時</td> <td>毎日 午後7時から翌朝8時まで 看護師1名（センター対応）、医師1名（自宅待機）</td> </tr> <tr> <td>利用に当たっての注意事項</td> <td>医師が直接診察して治療を行うものではなく、あくまでも電による家庭での注意事項の一般的な対処などに関する助言アドバイスを行うものです。</td> </tr> </table> </div> | 電話番号 | 011-232-1599（いーこきゅうきゅう） * プッシュ回線の固定電話及び携帯電話からは短縮ダイヤル「#8000番」も利用できます。 | 相談実施日時 | 毎日 午後7時から翌朝8時まで 看護師1名（センター対応）、医師1名（自宅待機） | 利用に当たっての注意事項 | 医師が直接診察して治療を行うものではなく、あくまでも電による家庭での注意事項の一般的な対処などに関する助言アドバイスを行うものです。 | <p>見直しの考え方</p> <p>H30から事業名称変更につき、修正</p> |
| 電話番号 | 011-232-1599（いーこきゅうきゅう） * プッシュ回線の固定電話及び携帯電話からは短縮ダイヤル「#8000番」も利用できます。 | | | | | | | | | | | | | |
| 相談実施日時 | 毎日午後7時から翌朝8時まで 看護師1名（センター対応）、医師1名（自宅待機） | | | | | | | | | | | | | |
| 利用に当たっての注意事項 | 医師が直接診察して治療を行うものではなく、あくまでも電話による家庭での注意事項の一般的な対処などに関する助言アドバイスを行うものです。 | | | | | | | | | | | | | |
| 電話番号 | 011-232-1599（いーこきゅうきゅう） * プッシュ回線の固定電話及び携帯電話からは短縮ダイヤル「#8000番」も利用できます。 | | | | | | | | | | | | | |
| 相談実施日時 | 毎日 午後7時から翌朝8時まで 看護師1名（センター対応）、医師1名（自宅待機） | | | | | | | | | | | | | |
| 利用に当たっての注意事項 | 医師が直接診察して治療を行うものではなく、あくまでも電による家庭での注意事項の一般的な対処などに関する助言アドバイスを行うものです。 | | | | | | | | | | | | | |

北海道医療計画 南檜山地域推進方針 新旧対照表

| 令和3年度 中間見直し（案） | 現行推進方針（平成30年度～令和5年度） | 見直しの考え方 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|--------------------------------|---------------|----------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|--------------|-----|--|--|----------|------------|--------------|-------|-----|---------|------|-----------------------|------|------|--------|----------------------|-----------------------------------|-----|--------------------------------------|---|---|----|---------|-----------------------|-----|-----------------------------------|---|---|----|---------|-----------------------|-----|-----------|--------------------------------|----|----|----|---------|--------------------------|----|--|----|----|----|---------|---------------------------|-------------|--|-----------------------------|--------------------------------|---------------|----------------------|----------------------|-------------------|------|---------|-----|--|----------|------------|--------------|-----|----------|------|-----------------------|------|--------|----------------------|-----------------------------------|-----|--------------------------------------|---|----|---------|--------------------------------|-----|-----------------------------------|---|----|---------|-----------------------|-----|-----------|--------------------------------|----|----|---------|--------------------------|----|--|----|----|---------|---------------------------|-------------|--------------------------------------|
| <p><北海道救急医療・広域災害情報システム> 医療機関、消防機関、救急医療情報案内センターをコンピュータネットワークで結び、休日、夜間の救急医療対応医療機関情報の道民への提供や、消防機関・医療機関における救急対応に必要な情報収集・提供等を行うシステムのこと</p> <table border="1" data-bbox="172 594 1249 856"> <tr> <td>ホームページアドレス（パソコン・スマートフォン等から）</td> <td>http://www.qq.pref.hokkaido.jp</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">情報案内センター電話番号等</td> <td>フリーダイヤル0120-20-8699</td> </tr> <tr> <td>携帯電話011-221-8699</td> </tr> </table> <p>【医療機関等の具体的名称】 <北海道小児地域支援病院> 北海道立江差病院 <小児二次救急医療支援事業参加病院> 北海道立江差病院</p> <table border="1" data-bbox="184 1033 1249 1432"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標区分</th> <th rowspan="2">指標名(単位)</th> <th colspan="3">北海道</th> <th rowspan="2">目標数値の考え方</th> <th rowspan="2">現状値の出典(年次)</th> <th rowspan="2">南檜山圏域 現状値</th> </tr> <tr> <th>計画策定時</th> <th>現状値</th> <th>目標値(R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">体制整備</td> <td>小児医療を行う医師数(人口1万人対)(人)</td> <td>15.3</td> <td>15.5</td> <td>全国平均以上</td> <td>現状より増加 (H28:17.6)</td> <td>平成30年 医師・歯科医師・薬剤師調査 (厚生労働省)</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>小児の訪問看護を実施している訪問看護事務所のある第二次医療圏数(医療圏)</td> <td>5</td> <td>7</td> <td>21</td> <td>全圏域での実施</td> <td>平成30年度 NDB [厚生労働省]</td> <td>未実施</td> </tr> <tr> <td>小児の訪問診療を実施している医療機関のある第二次医療圏数(医療圏)</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>21</td> <td>全圏域での実施</td> <td>平成30年度 NDB [厚生労働省]</td> <td>未実施</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">体制確保に係る圏域</td> <td>小児二次救急医療体制が確保されている第二次医療圏数(医療圏)</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>21</td> <td>全圏域での確保</td> <td>北海道保健福祉部調べ (令和2年4月現在)</td> <td>確保</td> </tr> <tr> <td>北海道小児地域医療センター、北海道小児地域支援病院による提供体制が確保されている第二次医療圏数(医療圏)</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>21</td> <td>全圏域での確保</td> <td>北海道保健福祉部調べ (平成31年4月現在)</td> <td>確保 (1施設)</td> </tr> </tbody> </table> | ホームページアドレス（パソコン・スマートフォン等から） | http://www.qq.pref.hokkaido.jp | 情報案内センター電話番号等 | フリーダイヤル0120-20-8699 | 携帯電話011-221-8699 | 指標区分 | 指標名(単位) | 北海道 | | | 目標数値の考え方 | 現状値の出典(年次) | 南檜山圏域 現状値 | 計画策定時 | 現状値 | 目標値(R5) | 体制整備 | 小児医療を行う医師数(人口1万人対)(人) | 15.3 | 15.5 | 全国平均以上 | 現状より増加 (H28:17.6) | 平成30年 医師・歯科医師・薬剤師調査 (厚生労働省) | 1.0 | 小児の訪問看護を実施している訪問看護事務所のある第二次医療圏数(医療圏) | 5 | 7 | 21 | 全圏域での実施 | 平成30年度 NDB [厚生労働省] | 未実施 | 小児の訪問診療を実施している医療機関のある第二次医療圏数(医療圏) | 7 | 8 | 21 | 全圏域での実施 | 平成30年度 NDB [厚生労働省] | 未実施 | 体制確保に係る圏域 | 小児二次救急医療体制が確保されている第二次医療圏数(医療圏) | 20 | 20 | 21 | 全圏域での確保 | 北海道保健福祉部調べ (令和2年4月現在) | 確保 | 北海道小児地域医療センター、北海道小児地域支援病院による提供体制が確保されている第二次医療圏数(医療圏) | 20 | 20 | 21 | 全圏域での確保 | 北海道保健福祉部調べ (平成31年4月現在) | 確保 (1施設) | <p><北海道救急医療・広域災害情報システム> 医療機関、消防機関、救急医療情報案内センターをコンピュータネットワークで結び、休日、夜間の救急医療対応医療機関情報の道民への提供や、消防機関・医療機関における救急対応に必要な情報収集・提供等を行うシステムのこと。</p> <table border="1" data-bbox="1397 594 2504 856"> <tr> <td>ホームページアドレス（パソコン・スマートフォン等から）</td> <td>http://www.qq.pref.hokkaido.jp</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">情報案内センター電話番号等</td> <td>フリーダイヤル 0120-20-8699</td> </tr> <tr> <td>FAXサービス 011-272-8699</td> </tr> <tr> <td>携帯電話 011-221-8699</td> </tr> </table> <p>【医療機関等の具体的名称】 <北海道小児地域支援病院> 北海道立江差病院 <小児二次救急医療支援事業参加病院> 北海道立江差病院</p> <table border="1" data-bbox="1389 1033 2454 1411"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標区分</th> <th rowspan="2">指標名(単位)</th> <th colspan="2">北海道</th> <th rowspan="2">目標数値の考え方</th> <th rowspan="2">現状値の出典(年次)</th> <th rowspan="2">南檜山圏域 現状値</th> </tr> <tr> <th>現状値</th> <th>目標値(H35)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">体制整備</td> <td>小児医療を行う医師数(人口1万人対)(人)</td> <td>15.3</td> <td>全国平均以上</td> <td>現状より増加 (H28:17.6)</td> <td>平成28年 医師・歯科医師・薬剤師調査 (厚生労働省)</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>小児の訪問看護を実施している訪問看護事務所のある第二次医療圏数(医療圏)</td> <td>5</td> <td>21</td> <td>全圏域での実施</td> <td>平成25年介護サービス施設・事業所調査 [厚生労働省]</td> <td>未実施</td> </tr> <tr> <td>小児の訪問診療を実施している医療機関のある第二次医療圏数(医療圏)</td> <td>7</td> <td>21</td> <td>全圏域での実施</td> <td>平成27年度 NDB [厚生労働省]</td> <td>未実施</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">体制確保に係る圏域</td> <td>小児二次救急医療体制が確保されている第二次医療圏数(医療圏)</td> <td>20</td> <td>21</td> <td>全圏域での確保</td> <td>北海道保健福祉部調査 平成30年2月現在)</td> <td>確保</td> </tr> <tr> <td>北海道小児地域医療センター、北海道小児地域支援病院による提供体制が確保されている第二次医療圏数(医療圏)</td> <td>20</td> <td>21</td> <td>全圏域での確保</td> <td>北海道保健福祉部調査 (平成30年1月現在)</td> <td>確保 (1施設)</td> </tr> </tbody> </table> | ホームページアドレス（パソコン・スマートフォン等から） | http://www.qq.pref.hokkaido.jp | 情報案内センター電話番号等 | フリーダイヤル 0120-20-8699 | FAXサービス 011-272-8699 | 携帯電話 011-221-8699 | 指標区分 | 指標名(単位) | 北海道 | | 目標数値の考え方 | 現状値の出典(年次) | 南檜山圏域 現状値 | 現状値 | 目標値(H35) | 体制整備 | 小児医療を行う医師数(人口1万人対)(人) | 15.3 | 全国平均以上 | 現状より増加 (H28:17.6) | 平成28年 医師・歯科医師・薬剤師調査 (厚生労働省) | 1.0 | 小児の訪問看護を実施している訪問看護事務所のある第二次医療圏数(医療圏) | 5 | 21 | 全圏域での実施 | 平成25年介護サービス施設・事業所調査 [厚生労働省] | 未実施 | 小児の訪問診療を実施している医療機関のある第二次医療圏数(医療圏) | 7 | 21 | 全圏域での実施 | 平成27年度 NDB [厚生労働省] | 未実施 | 体制確保に係る圏域 | 小児二次救急医療体制が確保されている第二次医療圏数(医療圏) | 20 | 21 | 全圏域での確保 | 北海道保健福祉部調査 平成30年2月現在) | 確保 | 北海道小児地域医療センター、北海道小児地域支援病院による提供体制が確保されている第二次医療圏数(医療圏) | 20 | 21 | 全圏域での確保 | 北海道保健福祉部調査 (平成30年1月現在) | 確保 (1施設) | <p>FAX サービス番号 削除</p> <p>時点修正</p> |
| ホームページアドレス（パソコン・スマートフォン等から） | http://www.qq.pref.hokkaido.jp | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 情報案内センター電話番号等 | フリーダイヤル0120-20-8699 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 携帯電話011-221-8699 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 指標区分 | 指標名(単位) | 北海道 | | | 目標数値の考え方 | 現状値の出典(年次) | 南檜山圏域 現状値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 計画策定時 | 現状値 | 目標値(R5) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 体制整備 | 小児医療を行う医師数(人口1万人対)(人) | 15.3 | 15.5 | 全国平均以上 | 現状より増加 (H28:17.6) | 平成30年 医師・歯科医師・薬剤師調査 (厚生労働省) | 1.0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 小児の訪問看護を実施している訪問看護事務所のある第二次医療圏数(医療圏) | 5 | 7 | 21 | 全圏域での実施 | 平成30年度 NDB [厚生労働省] | 未実施 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 小児の訪問診療を実施している医療機関のある第二次医療圏数(医療圏) | 7 | 8 | 21 | 全圏域での実施 | 平成30年度 NDB [厚生労働省] | 未実施 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 体制確保に係る圏域 | 小児二次救急医療体制が確保されている第二次医療圏数(医療圏) | 20 | 20 | 21 | 全圏域での確保 | 北海道保健福祉部調べ (令和2年4月現在) | 確保 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 北海道小児地域医療センター、北海道小児地域支援病院による提供体制が確保されている第二次医療圏数(医療圏) | 20 | 20 | 21 | 全圏域での確保 | 北海道保健福祉部調べ (平成31年4月現在) | 確保 (1施設) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ホームページアドレス（パソコン・スマートフォン等から） | http://www.qq.pref.hokkaido.jp | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 情報案内センター電話番号等 | フリーダイヤル 0120-20-8699 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | FAXサービス 011-272-8699 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 携帯電話 011-221-8699 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 指標区分 | 指標名(単位) | 北海道 | | 目標数値の考え方 | 現状値の出典(年次) | 南檜山圏域 現状値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 現状値 | 目標値(H35) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 体制整備 | 小児医療を行う医師数(人口1万人対)(人) | 15.3 | 全国平均以上 | 現状より増加 (H28:17.6) | 平成28年 医師・歯科医師・薬剤師調査 (厚生労働省) | 1.0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 小児の訪問看護を実施している訪問看護事務所のある第二次医療圏数(医療圏) | 5 | 21 | 全圏域での実施 | 平成25年介護サービス施設・事業所調査 [厚生労働省] | 未実施 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 小児の訪問診療を実施している医療機関のある第二次医療圏数(医療圏) | 7 | 21 | 全圏域での実施 | 平成27年度 NDB [厚生労働省] | 未実施 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 体制確保に係る圏域 | 小児二次救急医療体制が確保されている第二次医療圏数(医療圏) | 20 | 21 | 全圏域での確保 | 北海道保健福祉部調査 平成30年2月現在) | 確保 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 北海道小児地域医療センター、北海道小児地域支援病院による提供体制が確保されている第二次医療圏数(医療圏) | 20 | 21 | 全圏域での確保 | 北海道保健福祉部調査 (平成30年1月現在) | 確保 (1施設) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

北海道医療計画 南檜山地域推進方針 新旧対照表

| 令和3年度 中間見直し（案） | 現行推進方針（平成30年度～令和5年度） | 見直しの考え方 |
|---|--|----------------|
| <div data-bbox="201 443 1121 510" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 小児医療連携体制 </div> <p style="text-align: center;">（令和2年10月現在）</p> | <div data-bbox="1448 443 2398 510" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 小児医療連携体制 </div> <p style="text-align: center;">（平成30年4月現在）</p> | <p>見直しの考え方</p> |

| 令和3年度 中間見直し（案） | 現行推進方針（平成30年度～令和5年度） | 見直しの考え方 |
|--|--|--|
| <p>1 1 在宅医療の提供体制</p> <p>【現状】</p> <p>○ 長期にわたる療養や介護を必要とする患者が病気と共存しながら、生活の質の維持・向上を図りつつ療養生活を継続することができるよう、在宅医療の提供体制の整備が必要とされています。</p> <p>また、高齢化の急速な進行を踏まえ、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、医療と介護が連携した地域包括ケアシステムを構築する必要があります。</p> <p>＜在宅医療＞</p> <p>◇ 治療や療養を必要とする患者が、通院困難な状態にあっても自宅等の生活の場で必要な医療を受けられるように、医師などが自宅等（※）を訪問して看取りまでを含めた医療を提供するものです。</p> <p>◇ 在宅医療の対象者は、病気やけがなどにより通院が困難な人で、退院後継続して治療が必要な人、又は自宅等で人生の最終段階における医療を希望する人などで、具体的には、寝たきりの高齢者、神経難病患者、けがによる重度の後遺症のある患者、末期がん患者などです。</p> <p>※「自宅等」とは、居宅、特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、認知症対応型共同生活介護事業所等を指します。</p> <p>＜地域包括ケアシステム＞</p> <p>地域の実情に応じて、高齢者が、住み慣れた地域でその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、医療、介護、介護予防、住まい及び自立した日常生活の支援が包括的に確保される体制を言います。</p> <p>＜人生の最終段階における医療及びケアのあり方＞</p> <p>医師等の医療従事者から適切な情報の提供と説明がなされ、それに基づいて患者が医療従事者と話し合いを行い、患者本人による決定を基本とした上で、人生の最終段階における医療を進めることが最も重要です。</p> <p>○ <u>北海道全体の在宅サービスの実施状況</u>を見ると、病院では<u>62.7%</u>、診療所では<u>27.2%</u>、歯科診療所では<u>21.8%</u>が在宅サービスを実施していますが、全国平均は病院<u>63.3%</u>、診療所<u>35.7%</u>、歯科診療所では<u>21.8%</u>となっており、診療所が全国平均を大きく下回っています。</p> <p>南檜山では、訪問診療を行っている医療機関は、<u>令和3年4月現在</u>で病院が3施設、<u>及び診療所が1施設、歯科診療所(医院)が3施設</u>となっています。</p> | <p>1 1 在宅医療の提供体制</p> <p>【現状】</p> <p>○ 長期にわたる療養や介護を必要とする患者が病気と共存しながら、生活の質の維持・向上を図りつつ療養生活を継続することができるよう、在宅医療の提供体制の整備が必要とされています。</p> <p>また、高齢化の急速な進行を踏まえ、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、医療と介護が連携した地域包括ケアシステムを構築する必要があります。</p> <p>＜在宅医療＞</p> <p>◇ 治療や療養を必要とする患者が、通院困難な状態にあっても自宅等の生活の場で必要な医療を受けられるように、医師などが自宅等（※）を訪問して看取りまでを含めた医療を提供するものです。</p> <p>◇ 在宅医療の対象者は、病気やけがなどにより通院が困難な人で、退院後継続して治療が必要な人、又は自宅等で人生の最終段階における医療を希望する人などで、具体的には、寝たきりの高齢者、神経難病患者、けがによる重度の後遺症のある患者、末期がん患者などです。</p> <p>※「自宅等」とは、居宅、特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、認知症対応型共同生活介護事業所等を指します。</p> <p>＜地域包括ケアシステム＞</p> <p>地域の実情に応じて、高齢者が、住み慣れた地域でその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、医療、介護、介護予防、住まい及び自立した日常生活の支援が包括的に確保される体制を言います。</p> <p>＜人生の最終段階における医療及びケアのあり方＞</p> <p>医師等の医療従事者から適切な情報の提供と説明がなされ、それに基づいて患者が医療従事者と話し合いを行い、患者本人による決定を基本とした上で、人生の最終段階における医療を進めることが最も重要です。</p> <p>○ 在宅サービスの実施状況を見ると、病院では62.2%、診療所では29.9%、歯科診療所では21.0%が在宅サービスを実施していますが、全国平均は病院62.5%、診療所38.3%、歯科診療所では20.5%となっており、診療所が全国平均を大きく下回っています。</p> <p>南檜山では、訪問診療を行っている医療機関は、平成30年3月現在で病院が3施設、診療所が1施設となっています。</p> | <p>見直しの考え方</p> <p>時点修正 文言の追加</p> <p>歯科診療所(医院)分の追加。</p> |

| 令和3年度 中間見直し（案） | 現行推進方針（平成30年度～令和5年度） | 見直しの考え方 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|----------------------|--------------------|--------------------|--------------------|-----------------|-------|----|------------|------------|------------|-----|--------|--------------------|--------------------|--------------------|---|-----|------------------|------------------|------------------|------------------|-------|----|------------|------------|------------|-----|--------|--------------------|--------------------|--------------------|---|
| <p>○ 人生の最終段階も含め24時間体制で患者の急変等に対応できる在宅療養支援診療所及び在宅療養支援病院は、令和2年4月現在、全道でそれぞれ303施設、62施設が届出を行っており、病院については年々増加の傾向にあります。このうちそれぞれ138施設（全体の45.5%）、28施設（全体の45.2%）が札幌圏となっています。</p> <p>南檜山では、令和3年4月現在で在宅療養支援診療所及び病院の届出はありません。</p> <p>○ 在宅患者宅への訪問による薬剤管理指導を実施し、在宅患者調剤加算を算定している薬局は、南檜山では令和3年4月現在、4施設が届出を行っており開設許可を受けている薬局（9施設）の44.4%となっています。</p> <p>○ がんなどの疼痛緩和に必要な医療用麻薬の調剤や患者宅での保管管理・廃棄等の指導に対応できる麻薬免許を有する薬局は、南檜山では令和3年4月現在、5施設となっています。</p> <p>【課題】</p> <p>（1）在宅医療（訪問診療）の需要の把握</p> <p>○ 高齢化の進行や生活習慣病（慢性疾患）が死因の上位を占めるなどの疾病構造の変化に伴い、要介護認定者や認知症患者は大幅に増加しており、自宅や地域で疾病を抱えつつ生活を送る者が今後も増加していくことが考えられます。また、地域医療構想を推進する中で、病床の機能分化・連携が進むことに伴う増加（新たなサービス必要量）も見込まれます。</p> <p>○ 在宅医療は、地域包括ケアシステムの不可欠な構成要素であり、今後増大する慢性期の医療ニーズに対する受け皿であることから、適切な提供体制を整備するため、必要となる在宅医療の需要について、実態を踏まえ、推計することが必要です。</p> <p style="text-align: right;">（人／日）</p> <p style="text-align: center;">※下段（ ）は新たなサービス必要量を除いた数</p> <table border="1" data-bbox="172 1323 1151 1522"> <thead> <tr> <th>第二次医療圏</th> <th>平成25年 【2013年】</th> <th>令和2年 【2020年】</th> <th>令和5年 【2023年】</th> <th>令和7年 【2025年】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>南 檜 山</td> <td>53</td> <td>72 (63)</td> <td>83 (67)</td> <td>92 (70)</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>29,060</td> <td>40,571 (37,055)</td> <td>46,590 (40,482)</td> <td>51,281 (42,766)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和7年(2025年)の（ ）の数は、平成25年(2013年)時点で訪問診療を受けている方の数に、二次医療圏別・性年齢階級別の将来人口を乗じて推計。令和5年(2023年)は年数の按分により推計。</p> <p>（2）地域における連携体制の構築</p> <p>○ 地域における医療・介護資源、人口及び世帯構造の変化などを踏まえた上で、在宅医療の推進、介護サービスの提供体制の整備、高齢者の住まいの確保など、住み慣れた地域で生活を継続することができるよう、地域の事情に応じた取組を行っていくことが必要です。</p> | 第二次医療圏 | 平成25年 【2013年】 | 令和2年 【2020年】 | 令和5年 【2023年】 | 令和7年 【2025年】 | 南 檜 山 | 53 | 72 (63) | 83 (67) | 92 (70) | 合 計 | 29,060 | 40,571 (37,055) | 46,590 (40,482) | 51,281 (42,766) | <p>○ 人生の最終段階も含め24時間体制で患者の急変等に対応できる在宅療養支援診療所及び在宅療養支援病院は、平成29年4月現在、全道でそれぞれ258施設、52施設が届出を行っており、病院については年々増加の傾向にあります。このうちそれぞれ134施設（全体の51.9%）、27施設（全体の51.9%）が札幌圏となっています。</p> <p>南檜山では、平成30年3月現在で在宅療養支援診療所及び病院の届出はありません。</p> <p>○ 在宅患者宅への訪問による薬剤管理指導を実施し、在宅患者調剤加算を算定している薬局は、南檜山では平成30年4月現在、4施設が届出を行っており開設許可を受けている薬局（9施設）の44.4%となっています。</p> <p>○ がんなどの疼痛緩和に必要な医療用麻薬の調剤や患者宅での保管管理・廃棄等の指導に対応できる麻薬免許を有する薬局は、南檜山では平成30年4月現在、7施設となっています。</p> <p>【課題】</p> <p>（1）在宅医療（訪問診療）の需要の把握</p> <p>○ 高齢化の進行や生活習慣病（慢性疾患）が死因の上位を占めるなどの疾病構造の変化に伴い、要介護認定者や認知症患者は大幅に増加しており、自宅や地域で疾病を抱えつつ生活を送る者が今後も増加していくことが考えられます。また、地域医療構想を推進する中で、病床の機能分化・連携が進むことに伴う増加（新たなサービス必要量）も見込まれます。</p> <p>○ 在宅医療は、地域包括ケアシステムの不可欠な構成要素であり、今後増大する慢性期の医療ニーズに対する受け皿であることから、適切な提供体制を整備するため、必要となる在宅医療の需要について推計しています。<u>なお、推計結果については、療養病床の転換に関する状況や在宅医療（訪問診療）の体制整備の状況などを踏まえ、北海道医療計画の中間年（3年目）の見直しにおいて、再度推計することとしています。</u></p> <p style="text-align: right;">※下段（ ）は新たなサービス必要量を除いた数</p> <table border="1" data-bbox="1291 1312 2240 1543"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>平成25年 【2013年】</th> <th>平成32年 【2020年】</th> <th>平成35年 【2023年】</th> <th>平成37年 【2025年】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>南 檜 山</td> <td>53</td> <td>72 (63)</td> <td>82 (67)</td> <td>92 (70)</td> </tr> <tr> <td>全 道</td> <td>29,060</td> <td>40,571 (37,055)</td> <td>46,295 (40,482)</td> <td>51,068 (42,766)</td> </tr> </tbody> </table> <p>（2）地域における連携体制の構築</p> <p>○ 地域における医療・介護資源、人口及び世帯構造の変化などを踏まえた上で、在宅医療の推進、介護サービスの提供体制の整備、高齢者の住まいの確保など、住み慣れた地域で生活を継続することができるよう、地域の事情に応じた取組を行っていくことが必要です。</p> | 区 分 | 平成25年 【2013年】 | 平成32年 【2020年】 | 平成35年 【2023年】 | 平成37年 【2025年】 | 南 檜 山 | 53 | 72 (63) | 82 (67) | 92 (70) | 全 道 | 29,060 | 40,571 (37,055) | 46,295 (40,482) | 51,068 (42,766) | <p>時点修正</p> <p>見直し実施のため削除</p> <p>時点修正</p> |
| 第二次医療圏 | 平成25年 【2013年】 | 令和2年 【2020年】 | 令和5年 【2023年】 | 令和7年 【2025年】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 南 檜 山 | 53 | 72 (63) | 83 (67) | 92 (70) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合 計 | 29,060 | 40,571 (37,055) | 46,590 (40,482) | 51,281 (42,766) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 区 分 | 平成25年 【2013年】 | 平成32年 【2020年】 | 平成35年 【2023年】 | 平成37年 【2025年】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 南 檜 山 | 53 | 72 (63) | 82 (67) | 92 (70) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 全 道 | 29,060 | 40,571 (37,055) | 46,295 (40,482) | 51,068 (42,766) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 令和3年度 中間見直し（案） | 現行推進方針（平成30年度～令和5年度） | 見直しの考え方 |
|---|---|---------|
| <p>（3）在宅医療を担う医療機関等の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 在宅医療を求める患者が、住み慣れた家庭や地域で生活を送ることができるよう、在宅医療を提供できる医療機関や訪問看護ステーションの充実が必要です。 ○ 南檜山は、在宅医療の中心的役割を持つ在宅療養支援診療所及び病院が整備されていないため整備が必要です。 <p>（4）緩和ケア体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 緩和ケアについては、身体症状の緩和に加え、心理社会的な問題への援助が求められています。 ○ 在宅緩和ケアを進めるため、医療用麻薬の効果的・適正な使用を図っていく必要があります。 <p>（5）在宅栄養指導、口腔ケア体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢者のフレイル※1対策として、低栄養の防止が重要であることから、在宅での栄養管理や口からの食生活を推進していくための歯・口腔機能の維持と誤嚥性肺炎防止などの一環として専門的な口腔ケアの充実が必要です。 <p>※1 フレイル：学術的な定義は確定していないが、「後期高齢者の保健事業のあり方に関する研究」報告書では、「加齢とともに心身の活力（運動機能や認知機能等）が低下し、複数の慢性疾患の併存などの影響もあり生活機能が障害され、心身の脆弱化が出現した状態であるが、一方で適切な介入・支援により、生活機能の維持向上が可能な状態像」と定義されている。（平成27年度厚生労働科学研究特別事業「後期高齢者の保健事業のあり方に関する研究」報告書）</p> <p>（6）訪問看護の質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 訪問看護師には、医師や歯科医師、薬剤師、歯科衛生士、介護支援専門員などの専門職種と連絡・調整を図りながら、在宅療養中の患者に適切な看護を提供する能力が求められています。また、訪問看護を担う人材の確保に努める必要があります。 <p>（7）訪問薬剤管理指導の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 在宅療養中の患者が医薬品を適正に使用できるよう、薬局と医療機関等との間で服薬情報等を共有化するとともに、薬局薬剤師による在宅患者の医薬品管理・適正使用の指導（薬剤管理指導）の実施が求められています。 <p>（8）地域における在宅医療の理解の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 在宅医療を推進するためには、医療機関はもとより、住民に対する在宅医療に関する情報提供や普及啓発が必要です。 ○ 人生の最終段階の患者が自ら望む場所で最期を迎えることができるよう、患者やその家族、在宅医療に携わる関係者が患者の意思を共有することが必要です。 ○ また、家庭における看護の需要に対応するため、在宅療養に必要な家庭看護の知識・技術の普及を図る必要があります。 | <p>（3）在宅医療を担う医療機関等の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 在宅医療を求める患者が、住み慣れた家庭や地域で生活を送ることができるよう、在宅医療を提供できる医療機関や訪問看護ステーションの充実が必要です。 ○ 南檜山は、在宅医療の中心的役割を持つ在宅療養支援診療所及び病院が整備されていないため整備が必要です。 <p>（4）緩和ケア体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 緩和ケアについては、身体症状の緩和に加え、心理社会的な問題への援助が求められています。 ○ 在宅緩和ケアを進めるため、医療用麻薬の効果的・適正な使用を図っていく必要があります。 <p>（5）在宅栄養指導、口腔ケア体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢者のフレイル※1対策として、低栄養の防止が重要であることから、在宅での栄養管理や口からの食生活を推進していくための歯・口腔機能の維持と誤嚥性肺炎防止などの一環として専門的な口腔ケアの充実が必要です。 <p>※1 フレイル：学術的な定義は確定していないが、「後期高齢者の保健事業のあり方に関する研究」報告書では、「加齢とともに心身の活力（運動機能や認知機能等）が低下し、複数の慢性疾患の併存などの影響もあり生活機能が障害され、心身の脆弱化が出現した状態であるが、一方で適切な介入・支援により、生活機能の維持向上が可能な状態像」と定義されている。（平成27年度厚生労働科学研究特別事業「後期高齢者の保健事業のあり方に関する研究」報告書）</p> <p>（6）訪問看護の質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 訪問看護師には、医師や歯科医師、薬剤師、歯科衛生士、介護支援専門員などの専門職種と連絡・調整を図りながら、在宅療養中の患者に適切な看護を提供する能力が求められています。また、訪問看護を担う人材の確保に努める必要があります。 <p>（7）訪問薬剤管理指導の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 在宅療養中の患者が医薬品を適正に使用できるよう、薬局と医療機関等との間で服薬情報等を共有化するとともに、薬局薬剤師による在宅患者の医薬品管理・適正使用の指導（薬剤管理指導）の実施が求められています。 <p>（8）地域における在宅医療の理解の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 在宅医療を推進するためには、医療機関はもとより、住民に対する在宅医療に関する情報提供や普及啓発が必要です。 ○ 人生の最終段階の患者が自ら望む場所で最期を迎えることができるよう、患者やその家族、在宅医療に携わる関係者が患者の意思を共有することが必要です。 ○ また、家庭における看護の需要に対応するため、在宅療養に必要な家庭看護の知識・技術の普及を図る必要があります。 | |

| 令和3年度 中間見直し（案） | 現行推進方針（平成30年度～令和5年度） | 見直しの考え方 |
|--|--|---------|
| <p>【施策の方向性と主な施策】</p> <p>（1）地域における連携体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 住み慣れた地域で暮らしながら医療を受けられるよう、市町村単位での在宅医療の連携構築を目指し、在宅医療・介護連携推進事業を実施する町と保健所や関係機関が連携し、地域の医療介護資源等の把握や課題の整理を行い、課題解決に向け取組を進め、退院支援から日常の療養支援、急変時の対応、看取りまで継続した医療提供体制の構築を図ります。 ○ 患者の病状急変時に対応できるよう、在宅医療を担う病院・診療所、訪問看護事業所、在宅療養後方支援病院、地域包括ケア病棟を整備している医療機関等相互の連携体制の構築に努めます。 ○ 南檜山地域医療連携システムを活用した医療機関相互の転院等に係る看護連携の取組の充実を図ります。 ○ 医師、歯科医師、薬剤師、看護師、介護支援専門員、町職員などを対象に、多職種協働による在宅チーム医療等についての研修を行うなど、在宅医療を担う人材の育成と多職種間の連携体制の構築に努めます。 ○ 医療と介護の連携を図るため、多職種の構成員で組織する「南檜山医療・介護連携推進会議」の活動を推進します。 <p>（2）在宅医療を担う医療機関等の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 在宅医療を必要とする患者や家族のニーズに対応できるよう、在宅医療の中心となる在宅療養支援診療所・病院、訪問診療を実施する病院・診療所、歯科診療所（在宅療養支援歯科診療所等）、薬局、訪問看護ステーション等の整備等を支援します。 <p>（3）緩和ケア体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 在宅緩和ケアに関わる医師、看護師等の従事者に対する研修を実施するとともに、在宅療養患者に対する相談支援体制等の整備に努めます。 ○ 在宅緩和ケアにおける医療用麻薬の適正使用を推進するため、薬局に勤務する薬剤師を対象とする各種研修会の情報提供を通じて、薬局における医療用麻薬の適切な服薬管理が行われるよう支援します。 ○ 薬局から医療用麻薬を迅速かつ適切に在宅療養中の患者に提供されるよう、地域単位での麻薬在庫情報の共有を進め、薬局間での融通など、円滑な供給を図ります。 <p>（4）在宅栄養指導、口腔ケア体制の充実</p> <p>在宅における栄養管理や歯・口腔機能の維持、専門的な口腔ケアの充実に努めます。</p> <p>（5）訪問看護の質の向上</p> <p>在宅療養中の患者が住み慣れた地域で生活することができるよう、他の専門職種と連絡・調整し、生活の質を確保しながら支援を行うため、研修の実施等を通じ訪問看護を行う看護職員の確保と質の向上を図ります。</p> | <p>【施策の方向性と主な施策】</p> <p>（1）地域における連携体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 住み慣れた地域で暮らしながら医療を受けられるよう、市町村単位での在宅医療の連携構築を目指し、在宅医療・介護連携推進事業を実施する町と保健所や関係機関が連携し、地域の医療介護資源等の把握や課題の整理を行い、課題解決に向け取組を進め、退院支援から日常の療養支援、急変時の対応、看取りまで継続した医療提供体制の構築を図ります。 ○ 患者の病状急変時に対応できるよう、在宅医療を担う病院・診療所、訪問看護事業所、在宅療養後方支援病院、地域包括ケア病棟を整備している医療機関等相互の連携体制の構築に努めます。 ○ 南檜山地域医療連携システムを活用した医療機関相互の転院等に係る看護連携の取組の充実を図ります。 ○ 医師、歯科医師、薬剤師、看護師、介護支援専門員、町職員などを対象に、多職種協働による在宅チーム医療等についての研修を行うなど、在宅医療を担う人材の育成と多職種間の連携体制の構築に努めます。 ○ 医療と介護の連携を図るため、多職種の構成員で組織する「南檜山医療・介護連携推進会議」の活動を推進します。 <p>（2）在宅医療を担う医療機関等の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 在宅医療を必要とする患者や家族のニーズに対応できるよう、在宅医療の中心となる在宅療養支援診療所・病院、訪問診療を実施する病院・診療所、歯科診療所（在宅療養支援歯科診療所等）、薬局、訪問看護ステーション等の整備等を支援します。 <p>（3）緩和ケア体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 在宅緩和ケアに関わる医師、看護師等の従事者に対する研修を実施するとともに、在宅療養患者に対する相談支援体制等の整備に努めます。 ○ 在宅緩和ケアにおける医療用麻薬の適正使用を推進するため、薬局に勤務する薬剤師を対象とする各種研修会の情報提供を通じて、薬局における医療用麻薬の適切な服薬管理が行われるよう支援します。 ○ 薬局から医療用麻薬を迅速かつ適切に在宅療養中の患者に提供されるよう、地域単位での麻薬在庫情報の共有を進め、薬局間での融通など、円滑な供給を図ります。 <p>（4）在宅栄養指導、口腔ケア体制の充実</p> <p>在宅における栄養管理や歯・口腔機能の維持、専門的な口腔ケアの充実に努めます。</p> <p>（5）訪問看護の質の向上</p> <p>在宅療養中の患者が住み慣れた地域で生活することができるよう、他の専門職種と連絡・調整し、生活の質を確保しながら支援を行うため、研修の実施等を通じ訪問看護を行う看護職員の確保と質の向上を図ります。</p> | |

| 令和3年度 中間見直し（案） | 現行推進方針（平成30年度～令和5年度） | 見直しの考え方 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|----------------------|--------------------------------|----|------------|-----|--|--------------|------|--|-------------|-----|--|-------------|-----|--|----------------|-----|--|------------|------|--|--------|------|--|-------------|----|-----------|--------------------------------------|-----|---------------|---------------|-----|---------------------------|-----|-----|----------|-----|----------|-----|--------------|-----|----------|-----|--------|-----|------------|------|----------|------|---|-------|----|----|------------|-----|--|--------------|------|--|-------------|-----|--|-------------|-----|--|----------------|-----|--|--------|-----|--|------------|------|--|--------|------|--|-------------|----|-----------|--------------------------------------|-----|---------------|-----------------|-----|--------------------------------|----------------|-----|---------------------------|-----|-----|----------|-----|----------|-----|-----------|-----|----------|-----|--------|-----|------------|------|----------|------|--|
| <p>（6）訪問薬剤管理指導の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 在宅療養中の患者が適正に服薬できるよう、服薬状況を記録する「お薬手帳」の普及を図ります。 ○ また、「健康サポート薬局」などの薬局薬剤師に対する各種研修会を通じ、薬局間や関係機関との連携・協力による在宅患者への薬剤管理指導を促し、在宅医療の取組の充実に努めます。 <p>（7）地域における在宅医療の理解の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 往診や訪問診療など在宅医療に重要な役割を果たすかかりつけ医、かかりつけ科医、かかりつけ薬局を持つことの必要性や意義、訪問看護、訪問リハビリテーションや栄養指導の役割について、住民に対する普及啓発に努めるとともに、在宅医療に関する情報提供を行います。 <p>【医療機関等の具体的名称】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 訪問診療を実施している医療機関 <table border="1" data-bbox="142 831 1166 1094"> <thead> <tr> <th>医療機関名</th> <th>町名</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道南勤医協江差診療所</td> <td>江差町</td> <td></td> </tr> <tr> <td>厚沢部町国民健康保険病院</td> <td>厚沢部町</td> <td></td> </tr> <tr> <td>乙部町国民健康保険病院</td> <td>乙部町</td> <td></td> </tr> <tr> <td>奥尻町国民健康保険病院</td> <td>奥尻町</td> <td></td> </tr> <tr> <td>医療法人社団京会増永歯科医院</td> <td>江差町</td> <td></td> </tr> <tr> <td>上ノ国町立歯科診療所</td> <td>上ノ国町</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小山歯科医院</td> <td>厚沢部町</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ○ 訪問看護を実施している事業所 <table border="1" data-bbox="142 1192 1222 1423"> <thead> <tr> <th>訪問看護ステーション名</th> <th>町名</th> <th>サービス提供エリア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般社団法人北海道総合在宅ケア事業団 江差地域訪問看護ステーション</td> <td>江差町</td> <td>江差町、上ノ国町、厚沢部町</td> </tr> <tr> <td>訪問看護ステーションおとべ</td> <td>乙部町</td> <td>江差町、厚沢部町、乙部町 八雲町（旧熊石町）</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">令和3年4月1日現在</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 在宅患者訪問薬剤管理指導届出薬局 <table border="1" data-bbox="142 1551 783 1814"> <thead> <tr> <th>薬局名</th> <th>市町村</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サンセイつじ薬局</td> <td>江差町</td> </tr> <tr> <td>いにしえ調剤薬局</td> <td>江差町</td> </tr> <tr> <td>株式会社あさひ薬局江差店</td> <td>江差町</td> </tr> <tr> <td>アイン薬局江差店</td> <td>江差町</td> </tr> <tr> <td>江差調剤薬局</td> <td>江差町</td> </tr> <tr> <td>ドラッグまるや調剤部</td> <td>厚沢部町</td> </tr> <tr> <td>あっさぶ調剤薬局</td> <td>厚沢部町</td> </tr> </tbody> </table> | 医療機関名 | 町名 | 備考 | 道南勤医協江差診療所 | 江差町 | | 厚沢部町国民健康保険病院 | 厚沢部町 | | 乙部町国民健康保険病院 | 乙部町 | | 奥尻町国民健康保険病院 | 奥尻町 | | 医療法人社団京会増永歯科医院 | 江差町 | | 上ノ国町立歯科診療所 | 上ノ国町 | | 小山歯科医院 | 厚沢部町 | | 訪問看護ステーション名 | 町名 | サービス提供エリア | 一般社団法人北海道総合在宅ケア事業団 江差地域訪問看護ステーション | 江差町 | 江差町、上ノ国町、厚沢部町 | 訪問看護ステーションおとべ | 乙部町 | 江差町、厚沢部町、乙部町 八雲町（旧熊石町） | 薬局名 | 市町村 | サンセイつじ薬局 | 江差町 | いにしえ調剤薬局 | 江差町 | 株式会社あさひ薬局江差店 | 江差町 | アイン薬局江差店 | 江差町 | 江差調剤薬局 | 江差町 | ドラッグまるや調剤部 | 厚沢部町 | あっさぶ調剤薬局 | 厚沢部町 | <p>（6）訪問薬剤管理指導の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 在宅療養中の患者が適正に服薬できるよう、服薬状況を記録する「お薬手帳」の普及を図ります。 ○ また、「健康サポート薬局」などの薬局薬剤師に対する各種研修会を通じ、薬局間や関係機関との連携・協力による在宅患者への薬剤管理指導を促し、在宅医療の取組の充実に努めます。 <p>（7）地域における在宅医療の理解の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 往診や訪問診療など在宅医療に重要な役割を果たすかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局を持つことの必要性や意義、訪問看護、訪問リハビリテーションや栄養指導の役割について、住民に対する普及啓発に努めるとともに、在宅医療に関する情報提供を行います。 <p>【医療機関等の具体的名称】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 訪問診療を実施している医療機関 <table border="1" data-bbox="1288 831 2288 1129"> <thead> <tr> <th>医療機関名</th> <th>町名</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道南勤医協江差診療所</td> <td>江差町</td> <td></td> </tr> <tr> <td>厚沢部町国民健康保険病院</td> <td>厚沢部町</td> <td></td> </tr> <tr> <td>乙部町国民健康保険病院</td> <td>乙部町</td> <td></td> </tr> <tr> <td>奥尻町国民健康保険病院</td> <td>奥尻町</td> <td></td> </tr> <tr> <td>医療法人社団京会増永歯科医院</td> <td>江差町</td> <td></td> </tr> <tr> <td>和崎歯科医院</td> <td>江差町</td> <td></td> </tr> <tr> <td>上ノ国町立歯科診療所</td> <td>上ノ国町</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小山歯科医院</td> <td>厚沢部町</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ○ 訪問看護を実施している事業所 <table border="1" data-bbox="1288 1192 2389 1488"> <thead> <tr> <th>訪問看護ステーション名</th> <th>町名</th> <th>サービス提供エリア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般社団法人北海道総合在宅ケア事業団 江差地域訪問看護ステーション</td> <td>江差町</td> <td>江差町、上ノ国町、厚沢部町</td> </tr> <tr> <td>松岡訪問看護サービス（休止中）</td> <td>江差町</td> <td>江差町、上ノ国町、厚沢部町 乙部町、八雲町（旧熊石町）</td> </tr> <tr> <td>訪問看護ステーションノテ乙部</td> <td>乙部町</td> <td>江差町、厚沢部町、乙部町 八雲町（旧熊石町）</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ○ 在宅患者訪問薬剤管理指導届出薬局 <table border="1" data-bbox="1288 1551 1932 1814"> <thead> <tr> <th>薬局名</th> <th>市町村</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サンセイつじ薬局</td> <td>江差町</td> </tr> <tr> <td>いにしえ調剤薬局</td> <td>江差町</td> </tr> <tr> <td>株式会社あさひ薬局</td> <td>江差町</td> </tr> <tr> <td>アイン薬局江差店</td> <td>江差町</td> </tr> <tr> <td>江差調剤薬局</td> <td>江差町</td> </tr> <tr> <td>ドラッグまるや調剤部</td> <td>厚沢部町</td> </tr> <tr> <td>あっさぶ調剤薬局</td> <td>厚沢部町</td> </tr> </tbody> </table> | 医療機関名 | 町名 | 備考 | 道南勤医協江差診療所 | 江差町 | | 厚沢部町国民健康保険病院 | 厚沢部町 | | 乙部町国民健康保険病院 | 乙部町 | | 奥尻町国民健康保険病院 | 奥尻町 | | 医療法人社団京会増永歯科医院 | 江差町 | | 和崎歯科医院 | 江差町 | | 上ノ国町立歯科診療所 | 上ノ国町 | | 小山歯科医院 | 厚沢部町 | | 訪問看護ステーション名 | 町名 | サービス提供エリア | 一般社団法人北海道総合在宅ケア事業団 江差地域訪問看護ステーション | 江差町 | 江差町、上ノ国町、厚沢部町 | 松岡訪問看護サービス（休止中） | 江差町 | 江差町、上ノ国町、厚沢部町 乙部町、八雲町（旧熊石町） | 訪問看護ステーションノテ乙部 | 乙部町 | 江差町、厚沢部町、乙部町 八雲町（旧熊石町） | 薬局名 | 市町村 | サンセイつじ薬局 | 江差町 | いにしえ調剤薬局 | 江差町 | 株式会社あさひ薬局 | 江差町 | アイン薬局江差店 | 江差町 | 江差調剤薬局 | 江差町 | ドラッグまるや調剤部 | 厚沢部町 | あっさぶ調剤薬局 | 厚沢部町 | <p>見直しの考え方</p> <p>時点修正</p> <p>和崎歯科医院（江差町） 削除</p> <p>時点修正</p> <p>松岡訪問看護サービス（休止中） 削除</p> <p>訪問看護ステーションノテ乙部 ↓ 訪問看護ステーションおとべ</p> <p>株式会社あさひ薬局 ↓ 株式会社あさひ薬局江差店</p> |
| 医療機関名 | 町名 | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 道南勤医協江差診療所 | 江差町 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 厚沢部町国民健康保険病院 | 厚沢部町 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 乙部町国民健康保険病院 | 乙部町 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 奥尻町国民健康保険病院 | 奥尻町 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 医療法人社団京会増永歯科医院 | 江差町 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 上ノ国町立歯科診療所 | 上ノ国町 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小山歯科医院 | 厚沢部町 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 訪問看護ステーション名 | 町名 | サービス提供エリア | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 一般社団法人北海道総合在宅ケア事業団 江差地域訪問看護ステーション | 江差町 | 江差町、上ノ国町、厚沢部町 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 訪問看護ステーションおとべ | 乙部町 | 江差町、厚沢部町、乙部町 八雲町（旧熊石町） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 薬局名 | 市町村 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| サンセイつじ薬局 | 江差町 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| いにしえ調剤薬局 | 江差町 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 株式会社あさひ薬局江差店 | 江差町 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| アイン薬局江差店 | 江差町 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 江差調剤薬局 | 江差町 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ドラッグまるや調剤部 | 厚沢部町 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| あっさぶ調剤薬局 | 厚沢部町 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 医療機関名 | 町名 | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 道南勤医協江差診療所 | 江差町 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 厚沢部町国民健康保険病院 | 厚沢部町 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 乙部町国民健康保険病院 | 乙部町 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 奥尻町国民健康保険病院 | 奥尻町 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 医療法人社団京会増永歯科医院 | 江差町 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 和崎歯科医院 | 江差町 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 上ノ国町立歯科診療所 | 上ノ国町 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小山歯科医院 | 厚沢部町 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 訪問看護ステーション名 | 町名 | サービス提供エリア | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 一般社団法人北海道総合在宅ケア事業団 江差地域訪問看護ステーション | 江差町 | 江差町、上ノ国町、厚沢部町 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 松岡訪問看護サービス（休止中） | 江差町 | 江差町、上ノ国町、厚沢部町 乙部町、八雲町（旧熊石町） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 訪問看護ステーションノテ乙部 | 乙部町 | 江差町、厚沢部町、乙部町 八雲町（旧熊石町） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 薬局名 | 市町村 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| サンセイつじ薬局 | 江差町 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| いにしえ調剤薬局 | 江差町 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 株式会社あさひ薬局 | 江差町 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| アイン薬局江差店 | 江差町 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 江差調剤薬局 | 江差町 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ドラッグまるや調剤部 | 厚沢部町 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| あっさぶ調剤薬局 | 厚沢部町 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

令和3年度 中間見直し（案）

| 指標区分 | 指標名(単位) | 北海道 | | | 目標数値の考え方 | 現状値の出典(年次) | 南檜山圏域 現状値 |
|---------------|---|------|------------|-------------|------------------------------|--|--------------|
| | | 現状値 | 中間 見直し時 | 目標値 (R5) | | | |
| 体制整備 | 訪問診療を実施している医療機関数(人口10万人対)(医療機関数) | 15.4 | 15.1 | 19.9 | 現状より増加 (医療需要の伸び 率から推計) | 平成27年度 NDB 平成30年度NDB [厚生労働省] | 11.6 |
| | 機能強化型の在宅療養支援診療所*1又は病院*2のある第二次医療圏数(医療圏) | 12 | 12 | 21 | 全圏域での確保 | 北海道保健福祉部調査 (平成29年4月現在 ・令和2年度4月現在) | なし |
| 機能ごとの 体制等 | 退院支援を実施している医療機関のある第二次医療圏数(医療圏) | 20 | 20 | 21 | 全圏域での実施 | 平成27年度 NDB 平成30年度NDB [厚生労働省] | なし |
| | 在宅療養後方支援病院のある第二次医療圏数(医療圏) | 9 | 10 | 21 | 全圏域での確保 | 北海道保健福祉部調査 (平成29年4月現在 ・令和2年度4月現在) | なし |
| | 在宅看取りを実施する医療機関のある第二次医療圏数(医療圏) | 20 | 19 | 21 | 全圏域での実施 | 平成27年度 NDB 平成30年度NDB [厚生労働省] | 有り |
| 多職種の 取組確保等 | 24時間体制の訪問看護ステーションのある第二次医療圏数(医療圏) | 19 | 19 | 21 | 全圏域での確保 | 平成27年・平成29年介護 サービス施設・事業所調査 [厚生労働省] | 有り |
| | 歯科訪問診療を実施している診療所のある第二次医療圏数(医療圏) | 21 | 21 | 21 | 現状維持 | 平成27年度 NDB 平成30年度NDB [厚生労働省] | 有り |
| | 訪問口腔衛生指導を実施している診療所・病院のある第二次医療圏数(医療圏) | 二 | 20 | 21 | 全圏域での確保 | 平成30年度NDB [厚生労働省] | 有り |
| | 訪問薬剤管理指導・居宅療養管理指導を実施する薬局のある第二次医療圏数(医療圏) | 21 | 21 | 21 | 現状維持 | 平成27年度 NDB 平成30年度NDB [厚生労働省] | 有り |

※目標年次は平成32年度(3年ごとに見直し)

*1 「特掲診療科の施設基準等及びその届出に関する手続きの取扱いについて」(平成28年3月4日保医発0304第2号厚生労働省保険局医療課長通知)(以下「通知」という。)別添1の「第9」の1の(1)及び(2)に規定する在宅療養支援診療所。

*2 通知別添1の「第14」の2の1の(1)及び(2)に規定する在宅療養支援診療所。

現行推進方針（平成30年度～令和5年度）

| 指標区分 | 指標名(単位) | 北海道 | | 目標数値の考え方 | 現状値の出典(年次) | 南檜山圏域 現状値 |
|---------------|---|------|----------|------------------------------|------------------------------------|--------------|
| | | 現状値 | 目標値(H35) | | | |
| 体制整備 | 訪問診療を実施している医療機関数(人口10万人対)(医療機関数) | 15.4 | 19.9 | 現状より増加 (医療需要の伸び率 から推計) | 平成27年度 NDB [厚生労働省] | 12.2 |
| | 機能強化型の在宅療養支援診療所*1又は病院*2のある第二次医療圏数(医療圏) | 12 | 21 | 全圏域での確保 | 北海道保健福祉部調査 (平成29年4月現在) | なし |
| 機能ごとの 体制等 | 退院支援を実施している医療機関のある第二次医療圏数(医療圏) | 20 | 21 | 全圏域での実施 | 平成27年度 NDB [厚生労働省] | なし |
| | 在宅療養後方支援病院のある第二次医療圏数(医療圏) | 9 | 21 | 全圏域での確保 | 北海道保健福祉部調査 (平成29年4月現在) | なし |
| | 在宅看取りを実施する医療機関のある第二次医療圏数(医療圏) | 20 | 21 | 全圏域での実施 | 平成27年度 NDB [厚生労働省] | 有り |
| 多職種の 取組確保等 | 24時間体制の訪問看護ステーションのある第二次医療圏数(医療圏) | 19 | 21 | 全圏域での確保 | 平成27年介護サービス施設・ 事業所調査 [厚生労働省] | 有り |
| | 歯科訪問診療を実施している診療所のある第二次医療圏数(医療圏) | 21 | 21 | 現状維持 | 平成26年度 医療施設調査 (静態)[厚生労働省] | 有り |
| | 訪問薬剤管理指導・居宅療養管理指導を実施する薬局のある第二次医療圏数(医療圏) | 21 | 21 | 現状維持 | 平成27年度 NDB、介護DB [厚生労働省] | 有り |

※目標年次は平成32年度(3年ごとに見直し)

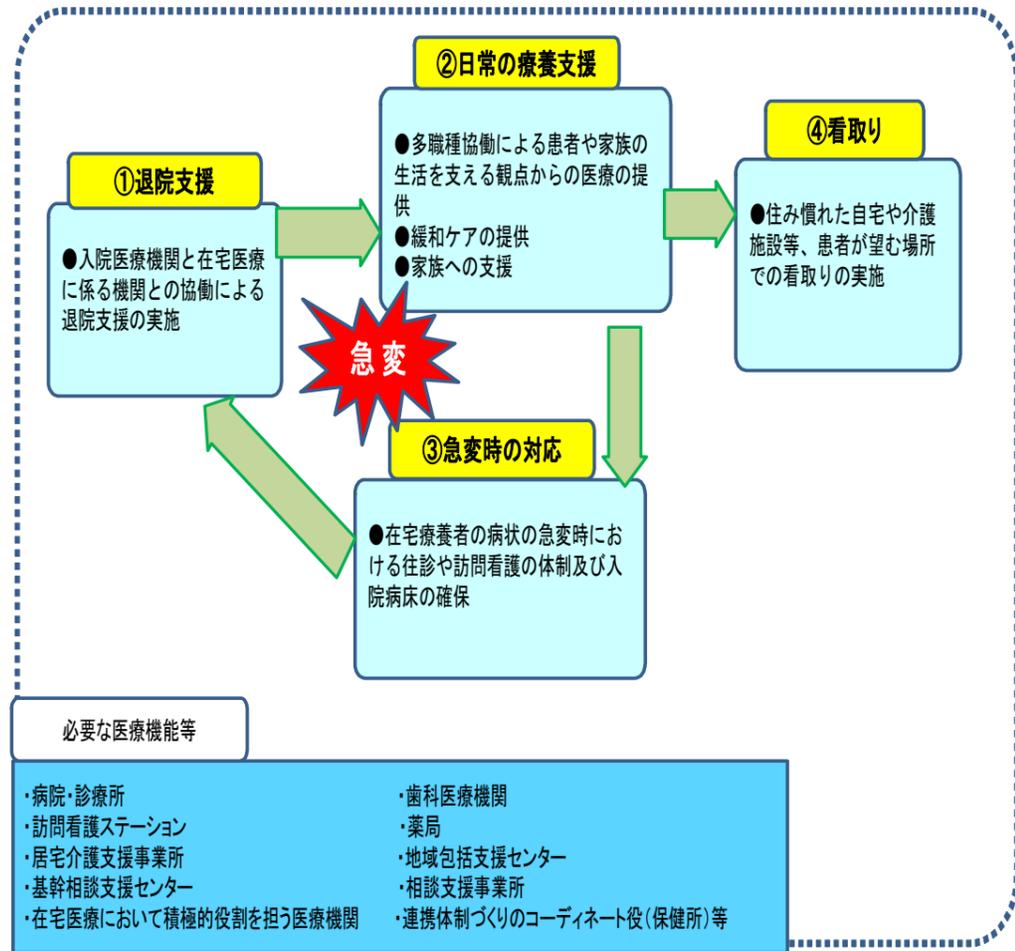
*1 「特掲診療科の施設基準等及びその届出に関する手続きの取扱いについて」(平成28年3月4日保医発0304第2号厚生労働省保険局医療課長通知)(以下「通知」という。)別添1の「第9」の1の(1)及び(2)に規定する在宅療養支援診療所。

*2 通知別添1の「第14」の2の1の(1)及び(2)に規定する在宅療養支援診療所。

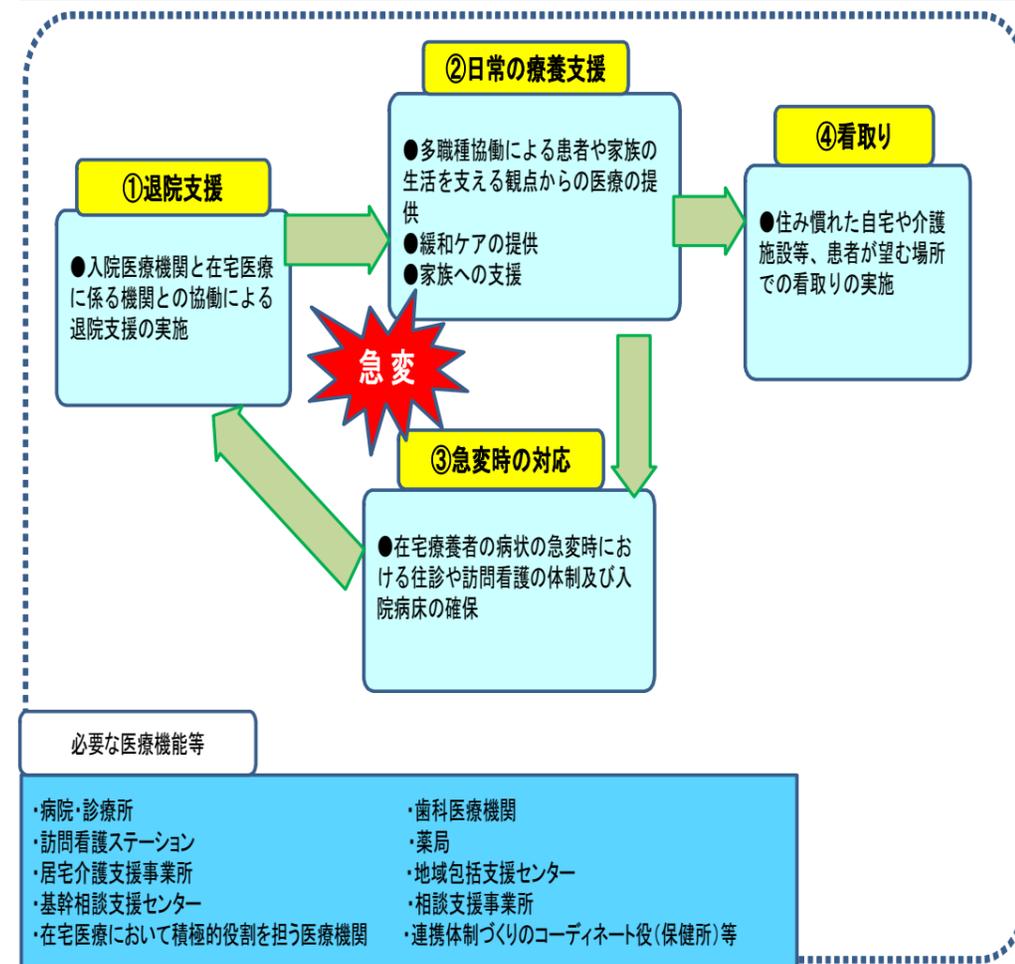
見直しの考え方

時点修正

在宅医療の提供体制



在宅医療の提供体制



北海道医療計画 南檜山地域推進方針 新旧対照表

| 令和3年度 中間見直し（案） | 現行推進方針（平成30年度～令和5年度） | 見直しの考え方 |
|--|--|--|
| <p>第3 その他地域保健医療対策の推進</p> <p>1 難病対策</p> <p>【現状】</p> <p>○ 難病対策については、昭和47年に国が策定した「難病対策要綱」に基づき、「特定疾患治療研究事業」や「小児慢性特定疾患治療研究事業」による医療費の公費負担を実施し、難病の実態把握や治療方法の開発、療養環境の改善などに一定の成果を挙げてきたところですが、平成27年1月に施行された「難病の患者に対する医療等に関する法律」（いわゆる難病法）により、医療費助成について公平かつ安定的な制度が確立されるなど総合的な対策が講じられています。</p> <p>（1）難病の範囲</p> <p>○ 難病のうち、患者数が本邦において一定の人数（人口の約0.1%程度）に達せず、客観的な診断基準（又はそれに準ずるもの）が確立しているものを「指定難病」とし医療費助成の対象としており、<u>令和2年4月現在で333疾病</u>が指定されています。</p> <p>○ また、児童等の自立促進を図るための事業の実施、調査及び研究の推進等のため、平成27年1月の「児童福祉法の一部を改正する法律」の施行により「小児慢性特定疾病医療支援」が実施され、<u>令和2年4月現在で819疾病</u>が医療費助成の対象となっています。</p> <p>（2）指定難病・特定疾患の医療</p> <p>○ 指定難病の認定基準を満たしている患者に対し受給者証を交付し公費負担を行っています。</p> <p>○ また、国が定める疾病に、道独自の疾病を追加し「特定疾患治療研究事業」を実施し、公費負担を行っています。（<u>令和2年4月1日現在、国が定める5疾病、道が定める17疾病。</u>）</p> <p>○ 南檜山の受給者数は、<u>令和2年3月末現在、指定難病は215人、特定疾患は国が定める疾病で0人、道が定める疾病で8人の計223人</u>となっています。</p> <p>○ 疾患群別では、パーキンソン病、重症筋無力症などの神経・筋疾患群の割合が多くなっています。</p> <p>（3）小児慢性特定疾病患者の医療</p> <p>○ 小児慢性特定疾病医療支援を受け、医療費助成の認定基準を満たす18歳未満の患者に対し受給者証を交付し公費負担を行っています。</p> <p>○ 南檜山の受給者数は、<u>令和2年3月末現在で、16人</u>となっています。</p> <p>（4）難病医療の現状</p> <p>○ 道では入院医療が必要となった神経難病患者に対し、適時に適切な入院施設の確保が図られるよう、地域の医療機関の連携による医療提供体制を整備しています。</p> | <p>第3 その他地域保健医療対策の推進</p> <p>1 難病対策</p> <p>【現状】</p> <p>○ 難病対策については、昭和47年に国が策定した「難病対策要綱」に基づき、「特定疾患治療研究事業」や「小児慢性特定疾患治療研究事業」による医療費の公費負担を実施し、難病の実態把握や治療方法の開発、療養環境の改善などに一定の成果を挙げてきたところですが、平成27年1月に施行された「難病の患者に対する医療等に関する法律」（いわゆる難病法）により、医療費助成について公平かつ安定的な制度が確立されるなど総合的な対策が講じられています。</p> <p>（1）難病の範囲</p> <p>○ 難病のうち、患者数が本邦において一定の人数（人口の約0.1%程度）に達せず、客観的な診断基準（又はそれに準ずるもの）が確立しているものを「指定難病」とし医療費助成の対象としており、<u>平成30年4月現在で331疾病</u>が指定されています。</p> <p>○ また、児童等の自立促進を図るための事業の実施、調査及び研究の推進等のため、平成27年1月の「児童福祉法の一部を改正する法律」の施行により「小児慢性特定疾病医療支援」が実施され、<u>平成30年4月現在で756疾病</u>が医療費助成の対象となっています。</p> <p>（2）指定難病・特定疾患の医療</p> <p>○ 指定難病の認定基準を満たしている患者に対し受給者証を交付し公費負担を行っています。</p> <p>○ また、国が定める疾病に、道独自の疾病を追加し「特定疾患治療研究事業」を実施し、公費負担を行っています。（<u>平成30年4月1日現在、国が定める5疾病、道が定める26疾病。</u>）</p> <p>○ 南檜山の受給者数は、<u>平成30年3月末現在、指定難病は213人、特定疾患は国が定める疾病で13人、道が定める疾病で6人の計232人</u>となっています。</p> <p>○ 疾患群別では、パーキンソン病、重症筋無力症などの神経・筋疾患群の割合が多くなっています。</p> <p>（3）小児慢性特定疾病患者の医療</p> <p>○ 小児慢性特定疾病医療支援を受け、医療費助成の認定基準を満たす18歳未満の患者に対し受給者証を交付し公費負担を行っています。</p> <p>○ 南檜山の受給者数は、<u>平成30年3月末現在で、10人</u>となっています。</p> <p>（4）難病医療の現状</p> <p>○ 道では入院医療が必要となった神経難病患者に対し、適時に適切な入院施設の確保が図られるよう、地域の医療機関の連携による医療提供体制を整備しています。</p> | <p>見直しの考え方</p> <p>時点修正</p> <p>時点修正</p> <p>時点修正</p> |

北海道医療計画 南檜山地域推進方針 新旧対照表

| 令和3年度 中間見直し（案） | 現行推進方針（平成30年度～令和5年度） | 見直しの考え方 |
|---|---|---------|
| <p>【体系図】</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 南檜山は専門医が不足しており、圏域外の専門医療機関を受診する難病患者が多いが、高齢化等により通院への負担が大きいことから、かかりつけ医や訪問看護との連携による支援が求められています。 <p>【施策の方向性と主な施策】</p> <p>(1) 治療研究事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 指定難病や特定疾患、小児慢性特定疾病の医療費助成制度が円滑に利用されるよう周知を図ります。 <p>(2) 在宅療養への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 専門医療機関の受診が困難な患者に対し、訪問検診や相談事業等を実施し在宅療養生活を支援します。 ○ 市町村等と連携し、障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスの周知・活用を図ります。 <p>(3) 地域連携による難病患者等への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 難病患者とその家族、市町村や医療、福祉、教育などの関係者で構成する「南檜山保健医療福祉圏域連携推進会議 難病対策専門部会（難病対策地域協議会）」において、難病患者等への効果的な支援方法等を検討します。 | <p>【体系図】</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 南檜山は専門医が不足しており、圏域外の専門医療機関を受診する難病患者が多いが、高齢化等により通院への負担が大きいことから、かかりつけ医や訪問看護との連携による支援が求められています。 <p>【施策の方向性と主な施策】</p> <p>(1) 治療研究事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 指定難病や特定疾患、小児慢性特定疾病の医療費助成制度が円滑に利用されるよう周知を図ります。 <p>(2) 在宅療養への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 専門医療機関の受診が困難な患者に対し、訪問検診や相談事業等を実施し在宅療養生活を支援します。 ○ 市町村等と連携し、障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスの周知・活用を図ります。 <p>(3) 地域連携による難病患者等への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 難病患者とその家族、市町村や医療、福祉、教育などの関係者で構成する「南檜山保健医療福祉圏域連携推進会議 難病対策専門部会（難病対策地域協議会）」において、難病患者等への効果的な支援方法等を検討します。 | |

北海道医療計画 南檜山地域推進方針 新旧対照表

| 令和3年度 中間見直し（案） | 現行推進方針（平成30年度～令和5年度） | 見直しの考え方 |
|--|--|----------------|
| <div style="text-align: center; border: 2px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">難病対策の体系図</div> <p>保健所 【在宅患者療養支援計画策定・評価事業】 【訪問指導】【医療相談委託】 【在宅訪問検診】(通院困難患者等) 【難病相談】【難病ヘルパー養成研修】 【在宅難病患者等酸素濃縮器使用助成事業】</p> <p>北海道難病連の地域支部 地域の患者団体 ・難病相談 ・啓発活動 等</p> <p>医療機関 【特定疾患治療研究事業】 ・入院、通院治療、訪問看護等 【神経難病在宅医療支援事業】 ・在宅支援チーム派遣</p> <p>難病医療協力医療機関 【重症難病患者入院施設確保事業】 ・難病医療拠点病院(北海道医療センター)との連携 ・受入体制の確保 等</p> <p>患者 家族</p> <p>難病対策地域協議会 ・支援機関等における課題の把握、共有 ・各支援機関等の連携による支援の検討 構成員(設置主体:道立保健所) 患者、家族、医療、福祉、教育など地域の関係者</p> <p>市町村 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス等の提供</p> <p>訪問看護ステーション 【在宅人工呼吸器使用患者支援事業】</p> <p>北海道医療センター (難病医療拠点病院) ・高度な医療の提供 ・入(転)院施設の調整 等</p> | <div style="text-align: center; border: 2px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">難病対策の体系図</div> <p>保健所 【在宅患者療養支援計画策定・評価事業】 【訪問指導】【医療相談委託】 【在宅訪問検診】(通院困難患者等) 【難病相談】【難病ヘルパー養成研修】 【在宅難病患者等酸素濃縮器使用助成事業】</p> <p>北海道難病連の地域支部 地域の患者団体 ・難病相談 ・啓発活動 等</p> <p>医療機関 【特定疾患治療研究事業】 ・入院、通院治療、訪問看護等 【神経難病在宅医療支援事業】 ・在宅支援チーム派遣</p> <p>難病医療協力医療機関 【重症難病患者入院施設確保事業】 ・難病医療拠点病院(北海道医療センター)との連携 ・受入体制の確保 等</p> <p>患者 家族</p> <p>難病対策地域協議会 ・支援機関等における課題の把握、共有 ・各支援機関等の連携による支援の検討 構成員(設置主体:道立保健所) 患者、家族、医療、福祉、教育など地域の関係者</p> <p>市町村 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス等の提供</p> <p>訪問看護ステーション 【在宅人工呼吸器使用患者支援事業】</p> <p>北海道医療センター (難病医療拠点病院) ・高度な医療の提供 ・入(転)院施設の調整 等</p> | <p>見直しの考え方</p> |